



今日のトピック 海外投資家が売り越す中、インド株はもみ合い コロナ感染者数が減少に転じ、持ち直しへ

ポイント1 インド株はもみ合い続く

- インド株式市場は、5月上旬に1日当たりの新規感染者数が40万人を超えるなど、新型コロナウイルスの感染急拡大が嫌気されて、上値の重い展開が続いていました。しかしながら、都市封鎖の効果などから、中旬以降は新型コロナの1日当たりの新規感染者数が30万人を割り込み、減少傾向となったことを受けて戻りを試す展開となっています。代表的な株価指数のSENSEX指数は、節目の50,000ポイントを回復し、足元では終値ベースで2カ月ぶりの高値水準を付けました。



(注1) データは2020年1月1日～2021年5月24日。
(注2) 外国人買い越し額は2020年1月1日からの累積(21年5月21日まで)。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

ポイント2 4月は海外投資家が売り越し

- インド株式市場への海外資金フローをみると、4月の海外投資家のマネーは、昨年9月以来の資金流出となりました。これまで海外投資家はインド株式への投資を積極化し、買い越しが続いてきましたが、新型コロナが猛威を振るっていることを嫌気して、売り越しに転じました。
- インド証券取引委員会のデータによれば、海外投資家は5月も売り越しとなっていますが(21日時点)、足元では買い越しの日が続いており、売却のピークは一旦越えた模様です。



(注1) データは2019年1月1日～2021年5月24日。
(注2) 予想EPSと予想PERは12カ月先。
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開 感染者数が減少に転じ、株価は持ち直しへ

- インド株式市場は、新規のコロナ感染者数が高水準にあることから当面上値の重い展開が続くものの、既に感染者数が減少に転じていることから、見直し買いが入ると思われます。ワクチン接種による感染収束期待、好調な企業業績と予想PER(株価収益率)による株価評価での割高感後退、金融緩和政策の継続や追加景気対策への期待などが株価を支えそうです。

ここも
チェック!

2021年5月13日 アジア・オセアニアのリート市場は続伸

2021年4月16日 インド株は高値もみ合い、コロナ感染拡大が上値を抑える

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。